見る（作品展示会場）

作品展示会場はA B Cの順にまわると効率的です。モデルコースもご参照ください

A 1-3 ヒガシマル醤油 元本社工場周辺

1a
国登録有形文化財
ヒガシマル醤油元本社工場
食塩溶解場（東蔵）
小谷真輔／ミロスワフ・バウカ

1b
仕込室（原料処理場、南蔵）
佐藤文香

1c
仕込蔵11、12号棟（麹蔵）
芝田知佳／犬丸暁／
マーク=アントワーヌ・ガルニエ／
ボニー・ポット／オフェリ・マック

1d
仕込蔵4号棟（西蔵）
山口敏郎×薮田翔一

1e
うすくち龍野醤油資料館 裏蔵
西村知子

2
国登録有形文化財
うすくち龍野醤油資料館
西村知子

3
元兵庫県信用組合
今村遼佑

B 4-8 うすくち龍野醤油 資料館別館周辺

4a
うすくち龍野醤油資料館
別館蔵
松井智惠

4b
うすくち龍野醤油資料館
別館前
井上いくみ

5
うすくち龍野醤油資料館
別館横住宅
角田広輔

6
三木露風生家＊
犬丸暁

7
たつの市立
龍野歴史文化資料館
特別展「豪農に伝来する絵画」

8a
龍野城
松谷武判

8b
たつの市立武家屋敷資料館
松谷武判

C 9 聚遠亭 / 10-15 その他の会場

9a
聚遠亭（浮見堂）
東影智裕

9b
聚遠亭（御涼所）
さわひらき／ミロスワフ・バウカ／
桐月沙樹

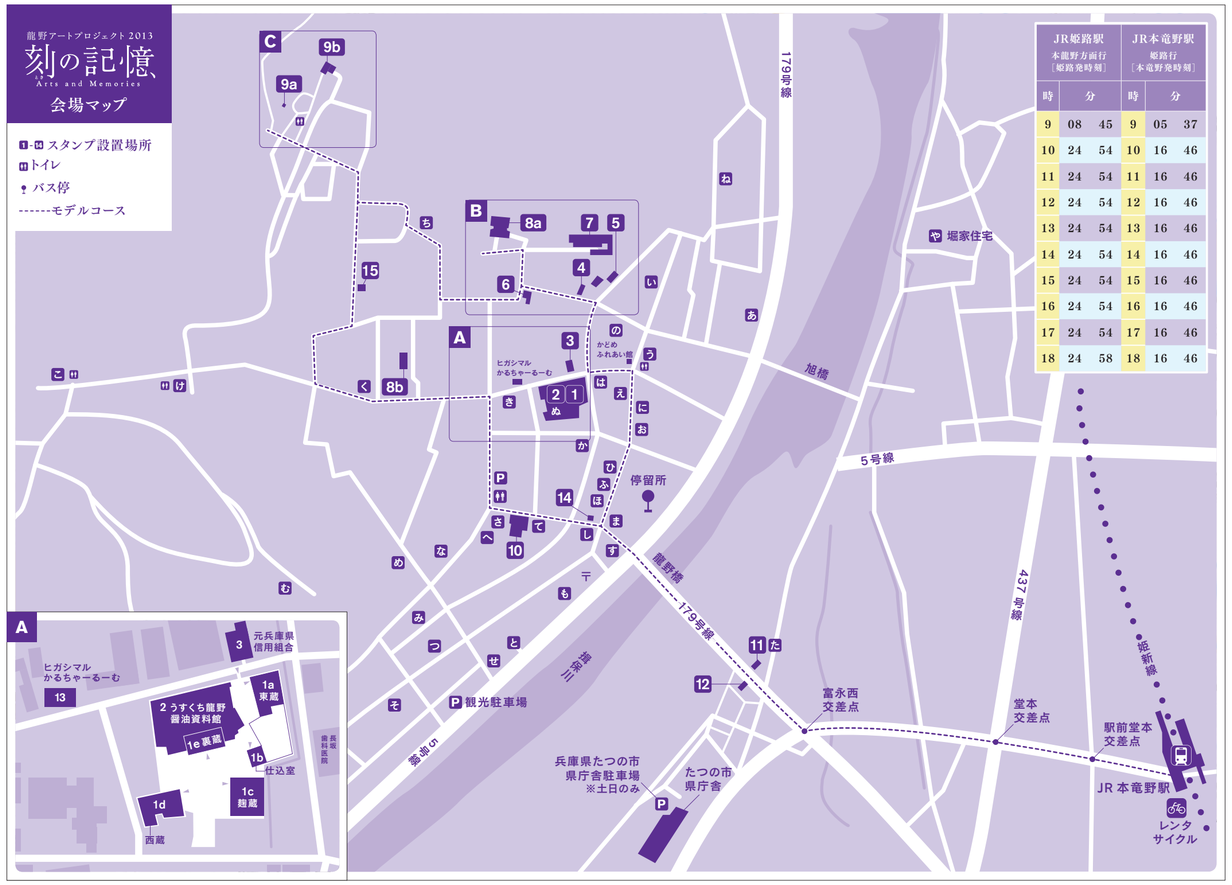
10
たつの市立龍野図書館＊
佐藤文香

11
ガレリア アーツ&ティー＊
尹熙倉

12
アポロスタヂオ
松谷武判
（金・土・日 映像上映）

14
元フクミズ化粧品店
ジェレミー・アンドレ

15
中霞城長屋
オフェリ・マック



JR姫路駅 本龍野方面行［姫路発時刻］			JR本竜野駅 姫路行［本竜野発時刻］		
時	分		時	分	
9	08	45	9	05	37
10	24	54	10	16	46
11	24	54	11	16	46
12	24	54	12	16	46
13	24	54	13	16	46
14	24	54	14	16	46
15	24	54	15	16	46
16	24	54	16	16	46
17	24	54	17	16	46
18	24	58	18	16	46

飲食（カフェやお食事処）

疲れたら一休み。古民家を利用したカフェ、お食事処がたくさんあります。

あ よこた本店
☎0791－62－0038
11:00－17:00　水曜休
※要予約
名代あなご寿し 740円

い エデンの東
☎0791－63－1273
8:00－20:00　11/15休
日替わり弁当 650円

う 井原のママキッチン
☎090－5042－5164
10:00－16:00
不定休（11/17・21休）
手作り惣菜・手芸品

え コミュニティカフェ 扉
☎0791－63－0766
9:00－17:00　水曜休
ケーキセット500円
※22－24日特別メニュー有り

お cafe 三九番地
☎0791－72－9139
9:00－20:00　火曜休
珈琲専門店　ケーキセット有

か 珈琲 紫園
☎0791－62－0122
9:00－17:00　不定休
モーニング（11時まで）

き 喫茶 すゞむら
☎0791－62－1376
8:30－17:00
会期中無休
にゅうめん 400円

く Cafe にゃーご
☎0791－62－1870
9:00－18:00　不定休
ランチ（12:00－14:30）
900円－
※日月ランチなし

け 龍野観光売店 さくら路
☎0791－63－9456
10:00－16:00　月曜休
さくら路にゅうめん 450円
天下一にゅうめん 500円

こ 山菜料理 すくね茶屋
☎0791－63－0331
11:00－19:00
第3木曜休
とろろご飯 1100円
三神定食 1300円

さ（たこやき）たこちゃん
☎0791－62－0911
10:30－18:00　月曜休
たこ焼き250円（10個入り）
にくてん 600円

し カフェギャラリー 結
☎0791－63－2183
10:00－17:00
11/19・20・21休
自家製はちみつを使ったドリンク

す 割烹 小浜
☎0791－62－3447
11:30－13:30
※夜17:00－　木曜休
日替わり昼定食 840円－

せ お好み焼 大ちゃん
☎0791－62－4440
11:30－14:00
夜17:00－22:00 11/17休
大ちゃんスペシャル 850円
ホルモンうどん 450円など

そ 日山ごはん
☎0791－63－2187
11:30－14:00
13:30 L.O.　不定休
ランチ 450円－

た ガレリア アーツ&ティー
☎0791－63－3555
11:00－18:00　水曜休
ランチ 1000円（コーヒー付）
自家製ケーキ
（ドリンク・ランチ＋300円）

ち そうめん処霞亭
☎0791－62－2040
11:00－16:00
水曜・第2木曜休
特製霞亭そうめん他
地場産自家製アイス

つ 菓子と珈琲 朔（さく）
☎0791－72－8839
10:00－18:00
水・木曜休
デザート専門カフェ

て 一汁一菜
☎0791－63－3591
11:00－19:00　不定休
無添加ごはん・おそうざい

と 矢車商店
☎090－9990－8163
金・土曜 12:00－24:00
隠れ家的古民家でゆっくり
お茶でもいかがですか？

買う（醤油、味噌、お土産など）

龍野といえば醤油や味噌、和菓子。ぜひお土産に。

な 菊屋商店
☎0791－63－0025
10:00－16:00　不定休
甘酒、もろみ、
龍野の里（醤油）など

に 井戸糀製造所
☎0791－62－0205
10:00－18:00　不定休
甘酒、味噌、糀、塩糀

ぬ うすくち龍野醤油資料館
☎0791－63－4573
9:00－17:00　月曜休
甘酒、もろみ、醤油など

ね 末廣醤油
☎0791－62－0005
9:00－17:00
土・日曜休
醤油、もろみ、醤油糀

の カネヰ醤油
☎0791－62－0021
8:30－17:00
16・17日休
うまみ醤油、菜もろみ

は 和菓子司 晴風
☎0791－63－0555
8:00－17:00　無休
醤油饅頭、片シボ竹最中

ひ 吾妻堂
☎0791－63－0140
9:00－18:00　会期中無休
煉羊羹、醤油饅頭、
限定“歳”あり、季節の和菓子

ふ 髙崎屋本店
☎0791－62－0459
9:00－18:00　無休
煉羊羹、醤油饅頭
季節の生菓子

へ 大三萬年堂
☎0791－62－0120
8:30－18:00　無休
煉羊羹、鮎もなか、樽もなか
おとのさま、醤油饅頭

ほ 古民芸 たつの
☎090－3726－4058
10:00－16:00
水曜休（土・日不定休）
日本各地の古民窯品、
時代家具、小鹿田焼など

ま あがべあーと
☎0791－63－5980
11:00－17:00
月・火・水曜休
※会期中休み要確認
絵画とやきもの

み arinomama gallery KURA
☎0791－60－2415
11/22・24
10:00－16:00
陶芸作品の展示販売

※スタンプラリーは協力会場にて飲食された方、購入された方のみ押印します

泊まる

む 国民宿舎 赤とんぼ荘
☎0791－62－1266
11:30－14:30　14:00 L.O.
月曜休（11月は無休）
中華ランチ 1000円
にゅう麺御膳 1000円、他
※飲食後タオル持参で入浴OK！

め 片しぼ竹の宿 梅玉
☎0791－62－1101
11:30－14:30　無休
にゅうめん御膳 1470円他

も 二葉旅館
☎0791-63-2300
和室2500円－

見る（関連施設）

7 たつの市立 龍野歴史文化資料館
☎0791-63-0907
9:00－17:00　月曜休
特別展「豪農に伝来する絵画」
堀家の歴代当主が収集した
狩野派の名品や龍野ゆかり
の作品など、豊かな文化を披
露します。

や 堀家住宅
☎0791-75-5450
11/16・17
10:00－16:00
平成25年8月に国の重要文化
財に指定された堀家住宅が日
時限定で一般公開されます。

モデルコース

会場を効率よく巡って、作品と龍野の街を満喫しよう！

START

A

ヒガシマル醤油元本社工場周辺

まずは醤油蔵を見学。普段は開放されない会場もあり、醤油資料館では、麹室・桶・樽など醤油作りの道具も見学できます。ヒガシマル醤油元本社工場は総合受付となります。

B

うすくち龍野醤油資料館別館周辺

資料館別館は大正時代の洋風建築です。龍野城や武家屋敷資料館で当時の武家の生活の様子を見学しましょう。童謡「赤とんぼ」の作詞で有名な三木露風生家も会場となります。

C

聚遠亭

美しい日本庭園や池のなかに佇む、数寄屋風建築がみどころ。龍野の町も一望でき、天気の良い日は瀬戸内の島々までみることができます。

10-15

その他の会場

作品を見たらちょっと一服、カフェやお食事処もたくさんあります。アポロスタヂオでは作家のドキュメント映像が上映されます。その他の会場でも関連イベントが多数行われます。

主催：龍野アートプロジェクト
後援：たつの市／姫新線利用促進・活性化同盟会／朝日新聞社／神戸新聞社／産経新聞社／毎日新聞姫路支局／読売新聞姫路支局／共同通信社／NHK神戸放送局／サンテレビジョン／ラジオ関西／アンスティチュ・フランセ関西
助成：公益財団法人神戸文化支援基金／公益財団法人朝日新聞文化財団／ポーランド広報文化センター／アダム・ミツキェヴィチ・インスティテュート／NTTドコモ姫路支店
協力：ヒガシマル醤油株式会社／兵庫県立龍野北高等学校／兵庫県立龍野高等学校／ル・アーブル/ルーアン高等美術デザイン学校／たつの市音楽協会／クリエイティブハウスおくむら／MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w／MEM／オオタファインアーツ／Antenna Media
印刷協力：合名会社　柳生印刷所／有限会社スガハラテント

Adam Mickiewicz Institute CULTURE.PL
ポーランド広報文化センター NOWY POLSKI TAKI
SUGAHARA TENT
有限会社スガハラテント
Tel：0790－42－2987
ys.sugaharatent@extra.ocn.ne.jp

文化庁平成25年度文化芸術振興費補助金
（地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）採択事業

2013年11月15日（金）－24日（日）10:00－16:00 ※18（月）休館

会場｜国登録有形文化財 ヒガシマル醤油元本社工場［総合受付］／龍野城／聚遠亭／他

copyright of Hiraki Sawa
courtesy of the artist and Ota Fine Arts

さわひらき
SAWA Hiraki

《Silts》
映像　14'50"　2009

石川県に生まれ、少年時代を自然豊かな場所で過ごし、高校卒業後、渡英。イースト・ロンドン大学とロンドン大学スレード校美術学部にて学び、修士号取得。好きだった飛行機とロンドンの住まいを組み合わせた、アパートの中を飛行機が静かに飛び交う映像作品で一躍注目を集めます。以後、抒情あふれる夢のような世界を表現した、主にモノクロームの映像作品の発表を続け、国際的にも高く評価されています。身近な日常の風景や微細なモチーフから出発しながら、非現実の物語世界へと観客を誘い、遥かな過去の記憶を蘇らせてくれるようです。どこかで見たことのあるような、懐かしい風景は、そこにあるはずのない場所へと動かされ、置き換えられています。詩的表現の背後から襲う恐れや戸惑いと、相反するみずみずしい喜びや驚きとが交互に立ち現われ、私たちを捉え、魅了します。ロンドン在住。

9b

松谷武判
MATSUTANI Takesada

《作品 - K - 61》
水性・油性絵の具、合板　183.5×183.5 cm　1961

大阪に生まれ、大阪市立工芸高校にて日本画を学んだ後、西宮に転居し、そのころ具体美術協会を主催していた吉原治良と知己を得ます。1960年に具体美術展に初出品、63年からは具体美術協会会員となりました。66年にフランス政府留学生選抜展でグランプリを受賞して渡仏、以降フランスを拠点として国際的に活躍を続けてきました。「人の真似をしない」「誰もやらないことをする」という具体の精神を受け継ぎ、ビニール接着剤を用いた平面作品や、黒鉛、墨などを用いたモノクロームの作品など、独自のスタイルを確立。その活動は高く評価され、日本を代表する作家の一人として注目されています。龍野アートプロジェクト2012にも招待出品。パリ在住。

8a 8b 12

尹熙倉
YOON Heechang

左:《そこに在るもの》 陶　40×40×40cm　2011
右奥:《そこに在るもの》 陶　(50×50×50cm)×2　2011

兵庫県相生市に生まれ、兵庫県立龍野高等学校、東京造形大学、多摩美術大学にて学び、修士号を取得。現在は多摩美術大学工芸学科陶プログラム准教授。活動当初から陶による立体作品を制作しますが、2000年頃より平面作品も手掛けるようになります。焼いた粘土を砕いて細かな粉にして、パネルに貼った和紙に溶いた膠と粉(陶粉)を用いて描く、自ら陶粉画と名付けるこの技法は、繊細な色彩と、陶の持つ深い風合いとが独特の魅力を放ちます。存在と非存在の間の、危ういバランスの上に成り立つ「何か」の気配が濃密に立ち込め、展示する場所の空間や建築とも呼応しあって、静かな時の流れを体験することができるでしょう。 近年は、世界各地で川砂を採取して焼成することで、その土地特有の記憶と結びついた作品制作にも着手しており、各種プロジェクトが継続進行中です。東京都在住。

11

5

角田広輔
KADOTA Hirosuke

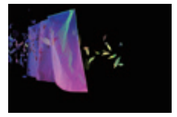
《延長と変換の増幅》 ミクストメディア　サイズ可変　2011

1c

ボニー・ポット
Bonnie POTH

《無題1》 色鉛筆、紙　120×80cm　2013

1b 10



佐藤文香
SATO Fumika

《Colors Birds》
紙、和紙、ビデオプロジェクター　サイズ可変　2013
コラボレーション／トメックジャロリム

9b

桐月沙樹
KIRIZUKI Saki

《temporary rooms》 木版、紙　70×70cm　2012

松井智惠
MATSUI Chie

《ハイジ 53 "echo"》
ビデオインスタレーション　2013

大阪府出身、京都市立芸術大学大学院美術研究科を修了。1980年代からその活動は注目を集め、スケールの大きな、空間全体へと広がるインスタレーション作品を手掛けます。90年代には国際的に活躍の場を広げ、2000年頃より映像作品の発表が続いています。J.シュピリ作「ハイジ」から着想を得たシリーズ「ハイジ」では、物語の中の純朴な少女が成長し、大人でも子どもでもなく、行き場を失ったディアスポラのような不思議な存在として映像作品に登場します。あの世とこの世とをつなぎ、自在に時空間を行き来しながら、私たちの持つ共通の、いわば原・記憶と名付け得るようなものと個人の記憶・風景や光景の間に佇む寓意を探り、物語ることの意味を探りながら、観客をどこでもない場所、未だ存在しない、それでいて懐かしい、いわば未来の記憶の中へと誘います。大阪市在住。

4a

山口敏郎
YAMAGUCHI Toshiro

《昇華 — 火の記憶 — 》
樹脂粘土、針金、顔料　サイズ可変　2012

岡山県瀬戸内市邑久町生まれ、武蔵野美術大学卒業後、マドリードに定住します。マドリードと岡山に日本とスペインとの文化交流の拠点として、ESPACIO TAOを立ち上げ、日本とヨーロッパを行き来しながら国際的に活躍を続けています。近年は古い宮殿や城、古民家、庭など、特徴のある空間を生かした大規模なインスタレーションも手掛け、幾重にも絵の具の層が積み重なる《記憶の種》や、スペインの情熱的な文化も連想させるような、燃えるような赤い華の連なった《昇華》や、大量の胞子が湧き出し、世界中に広がるさまを思わせる《白い華》など、生命の躍動感あふれる作品を発表して注目を集めています。龍野アートプロジェクト2012にも招待出品。マドリード在住。

1d

東影智裕
HIGASHIKAGE Tomohiro

《視界 rabbit s-007》
エポキシパテ(着彩アクリル絵具)
14×12×14cm　2013

兵庫県高砂市生まれ、武蔵野美術学園研究科版画コースを修了。当初は銅版画作品なども発表していましたが、次第に立体作品制作へと移行し、特に近年では、犬、兎、牛、河馬、ラクダなど動物の頭部を精巧に形作る作品発表が続いています。動物の頭部は土台の表面に柔らかで薄い樹脂を皮膚のように少しずつ貼り合わせるようにして制作されており、樹脂は時間がたつと固くなるため、限られたわずかな時間に、丹念に一本一本の毛並を針先で入れてゆくという、根気のいる作業の連続だそうです。静謐さの中にも力強い存在感を発揮する動物たちの表情は、静かに瞑想するようでもあり、どこか人間にも似て、澄んだまなざしに見詰められると心の奥底まで光が差し込み、永遠の時間とつながるような感覚にとらわれます。龍野アートプロジェクト2011にも招待出品。東京都在住。

9a

4b

井上いくみ
INOUE Ikumi

《記憶の重なり》 醤油瓶、透明シール　サイズ可変　2011

1e 2

西村知子
NISHIMURA Tomoko

《ars》 ミクストメディア　サイズ可変　2011

14

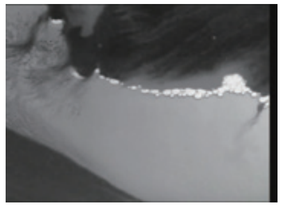
ジェレミー・アンドレ
Jérémy ANDRÉ

《See me, show you》 映像　5'37"　2012

1c

芝田知佳
SHIBATA Chika

《鳴ってなかなかブリッとしてるもんで》
シルクスクリーン、ドローイング、染料、布　50×72.7cm　2013



ミロスワフ・バウカ
Mirosław BAŁKA

《The Fall》
映像　5'08" (loop)　2001

ワルシャワ(ポーランド)近郊の保養地、オトヴォツクに生まれ、ワルシャワ美術アカデミーで彫刻を専攻。80年代には具体的な人物などをモチーフとした立体作品を手掛けますが、90年代前後より作風が一変し、鉄、セメント、石鹸、木など身近な素材を用いながら、一見したところ抽象的ではあるものの、作家の身体サイズと関係の深い作品を発表して国際的に注目されます。2000年頃より映像作品も手掛け、近年では映像を取り入れたインスタレーション作品の割合が高くなりました。第二次世界大戦にまつわる悲劇の記憶や人々の心に残る傷と、彼個人の記憶とが密接に結び合わせられ、身近な日常生活から歴史的な事件へと繋がります。何かを示すと同時に隠すような、抽象度が高く抑制された作品は、余白や余韻を味わう楽しみも与えてくれます。現在ワルシャワ美術アカデミー教授、オトヴォツク在住。

1a 9b

今村遼佑
IMAMURA Ryosuke

《風と風(炭酸水、時計、ブラインド)》
映像　9'53"　2012

京都府に生まれ、京都市立芸術大学大学院美術研究科を修了。光や音を作品に取り入れながら、日常生活で用いるような身近な素材を組み合わせ、シンプルな仕組みによって意外な効果を生み出すようなインスタレーションを手掛けてきました。微細な感覚に注意を向けることで、観客は日常から異世界へと連れ出され、空間に生じる気配に対して鋭敏になります。ささやかな差異から生まれる違和感が、日常の中に生じる非日常と重ねられ、それぞれの記憶の中の風景が呼び覚まされるでしょう。また近年は映像表現も取り入れながら、一見したところ穏やかで、かつ想像力を解き放つような覆す力を秘めた作品で注目されています。龍野アートプロジェクト2012にも招待出品。京都市在住。

3

小谷真輔
KOTANI Shinsuke

《空白クッション》
ミクストメディア　サイズ可変　2011

兵庫県姫路市生まれ、金沢美術工芸大学にて油画を学びました。在学中から、絵画作品の制作と並行して、映像やオブジェ、ドローイング等の複数のメディアを組み合わせた形態の作品を発表してきました。多くの絵画作品にみられる鮮やかで豊かな色彩や、一見妖しげな危なさや毒を孕みながらもどこか軽やかな表現が特徴的です。特に近年は、複数のメディアを効果的に配置し、音や光の効果を積極的に取り入れながら、絵画作品において繰り広げられてきた奇妙で豊饒な小宇宙が、展示空間において三次元的に展開していくインスタレーション形式の作品制作を続け、高く評価されています。また、独特の言語感覚にも優れ、作品タイトルや個展タイトルの不思議さは連想の幅を広げ、無意識の世界へと繋がってゆくような世界観は、一層観客を魅了してやみません。龍野アートプロジェクト2011にも招待出品。金沢市在住。

1a

1c 15

オフェリ・マック
Ophélie MAC

《Epuisement 3》 パフォーマンス(7人の女性、7足の陶器の靴、7つのエクササイズ)30'00"　2013

1c 6

犬丸暁
INUMARU Akira

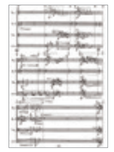
《もろみ大樽 1/1000 の幽霊》
醤油、和紙　サイズ可変　2012

1c

マーク=アントワーヌ・ガルニエ
Marc-Antoine GARNIER

《Archisculpture(s)》 ミクストメディア　サイズ可変　2013

1d



薮田翔一
YABUTA Shoichi

《EDGE》 2012
※楽曲(音源)出品

さわ、松井、バウカ以外は参考作品

# 関連イベント
11月9日(土)－24日(日)

ワークショップ／公開制作
料金：各200円　※事前申込制 A／B各先着20名

9日[土]
「ハサミで描こう
絵本ができちゃった — 空想の動物たちが醤油蔵にやってきた」
A 10：00－11：30／B 13：30－15：00
会場：10 たつの市立龍野図書館　講師：佐藤文香
対象：A 6才－小学2年生(ハサミ持参)
B 小学3年生－小学6年生(ハサミ持参)

10日[日]
「旗をつくろう — ペナントをまちじゅうにかざろう」
A 10：00－11：30／B 13：30－15：00
会場：2 うすくち龍野醤油資料館(裏蔵前集合)　講師：芝田知佳
対象：小学3年生－大人(雑巾、汚れてもいい服装持参)

「フランス人作家 公開制作」 ※申込不要
11：00－16：00
会場：1 ヒガシマル醤油元本社工場(仕込蔵11・12号棟)

トークイベント
※事前申込制

17日[日]
「アーティストトーク1」
山口敏郎×小谷真輔×角田広輔＋加須屋明子
10：30－12：00　場所：13 東丸かるちゃーるーむ　※定員80名

「アーティスト・トーク2」
松井智惠×東影智裕＋加須屋明子
13：30－15：00　場所：13 東丸かるちゃーるーむ　※定員80名

23日[土・祝]
「建築と芸術とまちづくり」
岸野裕児×加須屋明子×淺井良昭
13：30－15：00
会場：たつの市立かどめふれあい館 2F　※定員40名

24日[日]
「アーティストトーク3」
尹熙倉×今村遼佑＋加須屋明子
13：30－15：00
場所：10 たつの市立龍野図書館2F研修室　※定員60名

ツアー

16日[土]
「作品ガイドツアー」 ※申込不要
出品作家＋加須屋明子
A 10：00－11：30
集合：1 ヒガシマル醤油元本社工場(総合受付)前
B 13：30－15：00
集合：4 うすくち醤油資料館別館蔵

22日[金]
「ナイトツアー」 ※事前申込制 先着20名
18：00－19：00
集合：1 ヒガシマル醤油元本社工場(総合受付)前

映像上映 ※申込不要

[金・土・日のみ] 15－24日
「アートドキュメンタリー映像『MATSUTANI3』」
A 11：00－／B 16：00－　場所：12 アポロスタヂオ
協力：RaRa Project(藤原次郎＋奥村恵美子)

11月15日以降の行事参加には
龍野アートプロジェクト2013パスポートが必要です

龍野アートプロジェクト2013カレンダー	開館時間	11/9［土］	10［日］	15［金］	16［土］	17［日］	18［月］休館	19［火］	20［水］	21［木］	22［金］	23［土］	24［日］
1 国登録有形文化財 ヒガシマル醤油元本社工場	10：00－16：00		11：00－		10：30－						18：00－		
2 国登録有形文化財 うすくち龍野醤油資料館	10：00－16：00		A 10：00－ B 13：00－										
3 元兵庫県信用組合	10：00－16：00												
4 うすくち龍野醤油資料館別館蔵	10：00－16：00				13：30－								
5 うすくち龍野醤油資料館別館横住宅	10：00－16：00												
6 三木露風生家＊	9：30－16：30												
7 たつの市立龍野歴史文化資料館	10：00－16：00												
8 龍野城	10：00－16：00												
9 聚遠亭(浮見堂、御涼所)	10：00－16：00												
10 たつの市立龍野図書館＊	10：00－18：00	A 10：00－ B 13：30－											13：30－
11 ガレリアアーツ&ティー 2F［水曜休］＊	11：00－18：00												
12 アポロスタヂオ	10：00－16：00			A 11：00－ B 16：00－	A 11：00－ B 16：00－	A 11：00－ B 16：00－					A 11：00－ B 16：00－	A 11：00－ B 16：00－	A 11：00－ B 16：00－
13 東丸かるちゃーるーむ	10：00－16：00					A 10：00－ B 13：30－							
14 中霞城長屋	10：00－16：00												
かどめふれあい館	10：00－16：00											13：30－	